

## 事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	事業群主所属	文化観光国際部国際課
施策名	(2) 本県ならではのソフトパワーの活用・発信	課(室)長名	永橋 勝巳
事業群名	朝鮮通信使関係資料のユネスコ記憶遺産登録推進	事業群関係課(室)	

### 1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)				
<p>日韓の民間団体が推進している朝鮮通信使関連資料のユネスコ記憶遺産登録(1)に向けた取組に対し、長崎県と釜山広域市が連携し積極的に支援するとともに、日韓友好のシンボルである「朝鮮通信使」を活用した相互交流の拡大など、両国の交流促進や信頼関係強化に繋がる取組を実施します。</p> <p>(1)「ユネスコ記憶遺産」は、平成28年6月に呼称が「世界の記憶」に変更されています。</p>						<p>)ユネスコ記憶遺産登録に向けた民間団体の取組を支援</p> <p>)「朝鮮通信使」を活かした取組の展開</p>				
事業群	指標	基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	朝鮮通信使関連資料のユネスコ記憶遺産登録	目標値	/	登録	/	/	/	登録(H29)		平成29年10月31日に、朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」に登録された。 登録を契機とし、朝鮮通信使関連特集展示及び関連講座や日韓の高校生交流事業を開催するなどして、日韓両国における理解促進へつなげることができた。
		実績値	/	登録	/	/	/	進捗状況		
達成率		/	/	/	/	/	達成			

### 2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和元年度事業の成果等	中核事業				
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績			達成率			
1	取組項目	アジア・国際戦略プロジェクト推進事業費(韓国関連)	R元-3	/	/	/	県民・韓国の国民等	・5月の朝鮮通信使まつりにおいて、朝鮮通信使ゆかりの地観光物産展に県ブースを出展し、長崎県PRを実施した。また、行列パレードには長崎県から芸能団(平戸市宮の町獅子舞保存会)を派遣した。 ・9月の日韓交流おまつりにおいて、朝鮮通信使のブースを出した釜山文化財団と連携し、クイズ形式のスタンプラリーを実施するとともに、本県の観光の魅力の紹介や県産品の試飲・試食及び一部販売を実施した。	活動指標	長崎県の魅力をPRする場の設定回数(回)	2	2	100%	事業の成果 ・交流事業やイベントなどを通して、日韓両国における理解促進へつなげることができた。 事業群の目標(指標達成)への寄与 ・平成29年10月に、朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」に登録され、目標は達成できた。 ・令和元年度においては、朝鮮通信使を活用した相互交流の促進に向けた情報発信を行った。			
				3,083	2,380	3,190				根拠法令	成果指標	長崎県に関心を持つようになった来場者の割合(%)	92			92	100%
				/	/	/						/	/			/	/

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

ユネスコ記憶遺産登録に向けた民間団体の取組を支援 実績の検証及び解決すべき課題 ・ユネスコ「世界の記憶」への登録に向けた、NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会の活動を支援し、平成29年10月に登録を達成した。	課題解決に向けた方向性
---	-------------

「朝鮮通信使」を活かした取組の展開

実績の検証及び解決すべき課題

平成29年10月31日に、朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」に登録された。  
登録を契機とし、朝鮮通信使関連特集展示及び関連講座や日韓の高校生交流事業を開催するなどして、日韓両国における理解促進へつなげることができた。

課題解決に向けた方向性

これまで構築した関係機関との連携の深化と韓国国内で影響力のある人物や機関との人脈構築に取り組みながら、朝鮮通信使を活かした情報発信によるプレゼンス向上を図るとともに、日韓交流における朝鮮通信使の歴史的意義や本県が果たした役割などをPRし、さらなる交流拡大につなげていく。

4. 令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目	アジア・国際戦略プロジェクト推進事業費(韓国関連)  国際課	(R2新規) 朝鮮通信使船の日本来航にあわせ、韓国国内で、釜山文化財団等と連携し、日韓交流の歴史や対馬市が果たした役割等について紹介するとともに、民間の文化団体等と協働した写真パネル展等を開催する。		効果的な情報発信や日韓交流促進のためのイベントに取り組み、さらに、釜山文化財団による朝鮮通信使船事業を活用した取組と連携するなど、韓国国内における本県の実利創出・拡大に着実に繋げていく。	現状維持

注:「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- 視点 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- 視点 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- 視点 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- 視点 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- 視点 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- 視点 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- 視点 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- 視点 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- 視点 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- その他の視点